

重点施策		市立高等学校の充実		評価実施者	所 属	滝川西高等学校事務局
				職・氏名	事務長 法村幸子	

重点施策の概要	目 的	「文武両道」の精神のもと、規律を重んじる校風を高め、地域の期待に応える高校教育を推進するとともに、時代の変化に対応した市立高校の将来を展望したビジョンを策定し、地域や日本、世界に貢献する人材の育成を図ります。					
	今年度の主要事業	①平成25年度からの新教育課程の編成 ②キャリア教育の充実 ③英語教育及び国際理解教育の推進 ④高大連携の拡充					

事業の目標と実績			単位	H22	H23	H24	特記事項
	1	国公立大学への合格者数	人	20	20	20	
			目標	16	13	17	7年連続2桁の合格者数
			実績				
	2	就職決定率	%	100.0	100.0	100.0	3年連続100%の決定率
			目標	100.0	100.0	100.0	
			実績				
	3	GTECの平均スコア	スコア	全国平均 464.0	全国平均 459.0	全国平均 461.0	英語のコミュニケーション能力を測定するスコア型の英語検定であるGTECにおいて校内平均が2年連続で全国平均をオーバー
			目標	464.0	459.0	461.0	
			実績	431.3	466.1	472.2	
4		目標					
		実績					
5		目標					
		実績					

事業の分析効果の検証	①平成25年度からの新教育課程の編成…編成を完了[学習活動と部活動等の特別活動との相乗効果が上げられるよう週30単位時間で編成した。また、普通科においてコース制から文型・理型の2類型に変更しており、進学実績の向上が期待される。] ②キャリア教育の充実…3年間を見通した計画的なキャリア教育の実施、ガイダンス機能の強化・充実、上級学校の体験学習やインターンシップの参加・実施等[国公立大学への合格者数や就職決定率に効果が反映されている。] ③英語教育及び国際理解教育の推進…文部科学省の研究指定、全ての授業をオールイングリッシュで実施、言語活動の積極的な導入、外国語指導助手(ALT)の配置、米国ロングメドー高校への短期留学の実施等[GTECの校内平均スコア(472.2)や実用英語検定の合格者数(2級22名、準2級100名)などで、生徒の英語力の伸長状況を定期的に把握している。] ④高大連携の拡充…國學院大學北海道短期大学部の他、小樽商科大学等の道内大学との連携を拡大・強化[キャリア教育及び英語教育等の充実に寄与している。]
課題	①施設・設備や教材・教具等の改修・整備が滞っているために教育活動等に支障を生じている。

評価	A 評価の視点1 期待どおりの効果があったか 国立大学への合格者数が7年連続で2桁になるとともに、就職決定率が3年連続で100%になっているほか、英語教育におけるGTECの成績・結果が2年連続で全国平均スコアを上回するなど、期待どおりの効果を上げていると考える。 評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか 今後ともこれまで同様な施策効果を上げていくためには、施設・設備や教材・教具等の改修・整備を早急かつ計画的に進める必要がある。
----	---

【評価の区分】

A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
 B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
 C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
 D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	市立高等学校は、学習指導と生徒指導の両面について充実した教育活動を行っており、進学・就職の進路結果や部活動の成績結果等に顕著な成果が見られる。選ばれる高校をめざし、入学者定員を充足するためにも、施設・設備や教材・教具等の改修・整備など、所与の手当てを適切に講じながら、事業の継続・充実を図っていくことが望ましいと考える。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピートアップ ☐ 検証 ☒ 継続
-----------	---

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	西高の明確なビジョンが分からない。保護者は西高を卒業した後どうなるのかを見ている。スポーツに関する人材は管外に流出しているので、西高が受け皿となって魅力ある学校にしてほしい。
---------------	---